

え る の お

目次

報告 ケアメン講座	1	かでの2・7 各センター紹介	3
もっと女性プラザ	2	インフォメーション	4

報告 ケアメン講座

「ケアメン」とは、育児をする男性を「イクメン」と呼ぶのにならって、介護をする男性を指す造語です。3月16日に開催したケアメン講座は、受講対象者を「ケアメン」、つまり男性介護者に特化したもので、今年で7回目となります。女性プラザが男性を対象とした講座を開催するのは、すでに介護者の3分の1を男性が占めており、女性も男性もともに介護を担っているなかで、孤立しがちな男性介護者を支える手助けになればと、この講座を開いてきました。

はじめに、さっぽろ社会福祉士事務所代表の大島康雄さんをお招きして「男性介護の特性と介護保険制度について」というテーマでご講演いただきました。大島さんからは、男性介護者が抱える問題について、実例を交えながら詳しく解説をしていただきました。核家族化が進み、三世帯同居の減少から、昔のように「長男の嫁」が介護を担う時代は終わり、夫や息子といった男性による介護が増えている時代背景が解説されました。また、高齢者を虐待したり、介護心中や介護疲れによる殺人を引き起こすのは女性よりも男性介護者の方が多く、その理由としては男性介護者が一人で問題を抱え込んでしまいがちといったマイナス面があること、その一方で、男性は女性よりも体力があり介護には向



いていること、介護保険などの公的制度を調べて使いこなすのに長けているといったプラスの面について、分かりやすく解説していただきました。

つぎに、(一財)北海道介護ロボット推進協議会代表の萩生田知香志さんと評議員・主任インストラクターの村井田良さんによる、介護用ロボットスーツや福祉用具の紹介の後、介護用ロボットスーツを装着して、どれほど身体への負担が軽減されるかを参加者の皆さんに体験していただきました。その後、介護の負担を軽くする移動用リフトや、車いすからベッドへの移乗を支援する福祉用具を実際に使っていただき、介護にかかる労力を軽くする道具の活用方法について理解を深めることができました。



最後は、大島康雄さんをコーディネーターとして、参加者の皆さんとテーブルを囲んで、この講座に参加した理由や、実際に配偶者を介護している男性からの経験談などを語り合っていたいただき、男性介護者同士の交流を深めました。



参加された皆さんからは、「男性介護の実態、現状、今後について理解できた」(60代)「継続して開催して欲しい」(60代)「他の介護者の経験が聞けてよかった」(40代)といった感想をいただきました。

発行 / 北海道立女性プラザ (指定管理者: 公益財団法人北海道女性協会)


〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 6階 (011) 251-6329・6349

【ホームページアドレス】 <http://www.l-north.jp/>

(休館日: 日曜・祝日・年末年始) (開館時間: 月~金9:00~21:00、土9:00~17:00) *お問い合わせは9:00~17:00にお願いします。

もっと女性プラザ

2019年度の主な事業(予定)

	4～9月	10～3月
講演会／講座／セミナー等		
えるのす連続講座 ～女性大学～	第1期(10回)	第2期(10回)
男女共同参画週間講演会	6月25日(火)	
えるのす参画講演会 (地域団体との共催事業)	募集	5地域で実施
あなたの街に女性プラザ (市町村等との連携事業)	募集	5～7地域で実施
男性参画講座		ケアメン講座・交流会 3月7日(土)
他団体との連携講座	産む前に知っておきたい!! プレマ・プレパ 産前産後のりきりセミナー 6月1日(土)・9月14日(土)・11月2日(土)・2月1日(土)	
	女性の健康、起業促進、などに関するセミナー など	
女性プラザ祭2019 開催期間: 11月5日～9日		<ul style="list-style-type: none"> ・DVD上映会 5日(火) ・講演会 ・女も男もワイワイセッション ・プラザマルシェ等 7日(木)
相談事業		
女性のための法律相談	面接による相談(1ヶ月前からの予約制) 毎月第2・4水曜日午後 一人30分	
女性の活躍支援センター	・総合相談 ・専門相談 ・メンター相談 など	
男女平等参画関係法律相談	6地域	室蘭、函館、旭川、北見、帯広、釧路 で開催
交流フロアのイベントなど	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展(男女共同参画週間、女性プラザ祭) ・他団体による様々な展示 ・体操講座等の催し ・カルチャーナイト(7月19日(金))への参加 ・男女平等参画や女性関連記念日、各地域での取組、図書などの紹介 	

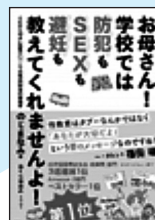
情報提供フロアから

新着DVDソフトのご紹介

番号	タイトル	時間
D-56	日本を変えた女性たち 1巻 広岡浅子	19分
D-57	日本を変えた女性たち 2巻 津田梅子	18分

ピックアップ書籍

お母さん! 学校では
防犯もSEXも避妊も
教えてくれませんか!
のじまなみ 著
辰巳出版

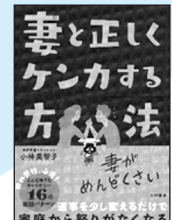


平成30年度新着図書から

仕事に
しぼられない
生き方
ヤマザキマリ 著
小学館



妻と正しくケンカする
方法: その言い方が
女をキレさせる
小林美智子 著
大和書房



かでの2・7 各センター紹介

かでの2・7には女性プラザ以外にも、道民の学習や活動を支援するセンターがあります。

北海道立市民活動促進センター（8階）

「NPO法人設立基礎講座」のご案内

当センターでは、コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動に関心のある方、特定非営利活動法人（NPO法人）の設立を考えている方などを対象に、市民活動の基礎知識、NPO法人の設立に必要な要件や申請手続きなどの基本について学ぶ講座を開催します。

- 対象
市民活動に関心のある方、NPO法人設立を考えている方など
- 講師
東田秀美さん（NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長）
- 定員・料金
定員30名・資料代 300円
- 日程
・令和元年11月28日（木） 18:00～21:00
・令和2年 2月25日（火） 18:00～21:00
※各日、同一内容で1回（1日）完結の講座です。ご都合のよい日程でお申し込み下さい
- お問い合わせ：北海道立市民活動促進センター
TEL：011-261-4440 FAX：011-251-6789
Eメール：center@do-shiminkatsudo.jp
URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp/

※ 事前に申込書をFAXまたは郵送で送付いただくか、Eメールで「講座名」、「参加希望日」、「氏名」、「住所」、「連絡先」を明記のうえ、お申し込み下さい（電話可）

北海道立生涯学習推進センター 情報交流広場「まなびの広場」（9階）

情報交流広場「まなびの広場」は、道立生涯学習推進センターの施設のひとつ（受託者：北海道生涯学習協会）です。新聞や各種図書が設置されており、自由に学習することができます。また、展示コーナーでは様々な団体が月ごとに写真や資料を展示しており、活動を発表する場にもなっています。そのほか、受付カウンターでは道民カレッジに関する相談や視聴覚教材の貸出にも対応しています。

かでの2・7にお越しの際は、ぜひ当施設にもお立ち寄りください。

- 開館時間 9:00～18:00
- 休業日 土・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
道民活動センタービルの臨時休館日

【北海道生涯学習協会について】

道民の生涯学習の振興を図り、生涯学習社会の実現に寄与することを目的とした、公益財団法人です。年間10回程度、今日的な課題に焦点を当てた「かでの講座」を開催し、道民への学習機会の提供を行っています。

第3回目は、医師の方波見康雄氏にご講演いただきます。興味のある方は下記までお申し込みください。

- 日時：令和元年6月18日（火） 13:30～15:30
- 会場：かでの2・7 4階 大会議室
- 受講料：500円（賛助会員は400円）
- お問い合わせ先：011-204-5780

3施設連携事業 「親子防災講座 ～地震について学ぼう! 考えよう!～」



かでの2・7の中にある3つの施設（道立女性プラザ、道立市民活動促進センター、道立生涯学習推進センター）では、より多くの方に知っていただき、活用していただきたいと考え、2017年度から合同でイベントを開催しています。



北海道胆振東部地震をきっかけに、家族で地震災害・防災について改めて学び考えていただければと思い開催いたしました。

当日は、3歳～8歳までのお子さんとそのご家族の方に参加していただきました。

第1部のDVD上映会では、防災教育アニメーションで、地震から身を守る方法を学びました。



第2部の親子防災講座では、北海道防災教育アドバイザーの住友静恵さんを講師にお迎えし、前半は「北海道防災かるた」で楽しく遊びながら北海道ならではの防災の知識を身につけ、後半は、かるたの内容から防災クイズにチャレンジしました。

小さなお子さんも真剣に耳を傾け、〇×クイズに取り組む姿は印象的でした。

参加者からは、「防災カルタが欲しくなった」「お正月など年1回は家族で遊んで防災知識を身につけたい」といった感想をいただきました。

企画・制作
（一財）日本気象協会北海道支社

インフォメーション

女性の活躍推進に係る総合相談支援窓口

北海道女性の活躍支援センター

●総合相談

女性のライフステージにおける様々な悩みに、支援制度に精通し、幅広い知識・経験を有する支援員が、専門相談窓口の紹介等も含めて相談に応じます。

利用時間：月・火・木・金 10:00～16:00

水・土 10:00～13:00

休館日：日曜・祝日・年末年始

申込方法：事前の申込みは不要です。

相談方法：来訪（面談）のほか、電話やEメール、FAXでも承ります。

●専門相談

起業をはじめ、子育て、介護に関する専門的な知識・経験を有する専門家相談員が、相談に応じます。

申込方法：電話、FAX、Eメールで支援センターに、

お名前、連絡先（電話・メールアドレス）、

相談希望日時、相談内容（分野）

をお伝えください。

支援員が専門家相談員と面談日時を調整し、

申込者にご連絡いたします。

相談方法：面談で承ります。

●メンター相談

北海道の女性ロールモデル集「北の★女性からのメッセージ」で紹介されている道内各地域で活躍する女性がメンター（助言者）となって、自らの体験を元に皆さんの素朴な疑問や悩みにアドバイスをします。

申込方法：電話、FAX、Eメールで支援センターに、

お名前、連絡先（電話・メールアドレス）、

希望するメンターの名前（又は相談分野）

をお伝えください。

支援員がメンターと調整の上、メンターのメ

ールアドレスを申込者にご連絡いたします。

相談方法：メールでの相談になります。



●お申込み・お問い合わせ先

北海道女性の活躍支援センター

電話：011-272-0008

（月・火・木・金 10:00～16:00/水・土10:00～13:00）

FAX：011-261-6693

Eメール：plaza@l-north.jp

URL：http://www.l-north.jp/sodan/katuyaku.html

男女共同参画週間講演会

演題

「ジェンダー不平等社会」日本は
「ジェンダー平等社会」へと変わるか？
—ジェンダー平等先進国・北欧から学ぶ処方箋—

講師

北海道立女性プラザ
館長 笹谷春美氏



1975年の国際女性年を契機に、国際社会は男女差別撤廃とジェンダー平等を目指してきましたが、日本では依然として女性はケアの役割に縛られ、仕事との両立に苦しみ、性暴力も後を絶ちません。ジェンダーギャップも大きく、日本の国際的地位は下がる一方です。「この現状を変えたい！」女性たちの怒りが高まっています。ジェンダー平等社会・北欧の理念と戦略に学びながら、その方策を共に考えましょう。

○日時 令和元年6月25日（火）

10:00～12:00

○会場 かでる2・7 4階 大会議室

○参加料 無料

※お申込方法

電話かEメール又は直接女性プラザ窓口でお申し込みください。（受付開始：5月25日（土））

TEL:011-251-6329

9:00～17:00（日曜・祝日は除く）

※Eメールの方は、

①講演会参加希望 ②お名前 ③電話番号

を明記し、info@l-north.jp（Iは小文字のL）

へ送信して下さい。

女性のための相談室

法律相談



世の中が複雑化するにつれ、日常生活の中にも様々な問題や悩みごとなど多く出てきます。法律に関してわからないことがありましたら、お気軽にご相談ください。女性の弁護士が面接で相談に応じます。

相談料 無料

相談日 毎月第2・4水曜日

（ただし、8月14日は8月7日に、12月25日は12月18日に振り替えます。）

時間 午後1時15分から午後3時45分まで
（1人30分）

申込方法 予約制（相談日の1ヶ月前より予約受付開始）
電話または直接女性プラザ受付窓口へお申し込みください。

（受付時間：月～土9:00～17:00）

- 「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。
- 「えるのす」は女性（Lady）の頭文字と北（North）の造語です。